

親子でふるさとの魅力体験を支援

学生団体名 地域間交流研究会（金城大学短期大学部）

参加学生 福田遙香・小坂純菜・三宮まりん・宮田紗里衣ほか 計 33 名

1. 地域活動の概要

本事業では、地元自治体、保育園、幼稚園、子育て支援NPO、山間部の地域住民と連携し、平野部の若い親子が過疎化の進む山間部の高齢者のもとへ出向き、交流しながら自然や伝統文化に触れる活動を企画、運営する。その際には、幼児教育学科の学生が専門的な知識を活かして親子を補助する。

2. 地域活動の具体的な内容

・6/27（土）白山市木滑地区 なめこ養殖工場見学

参加者数 40 名（学生 10 名、親子・地域住民 30 名） 蝶屋保育園の親子が参加

雨のため芋苗植えの予定を変更し、現地のなめこ養殖工場を見学。収穫の体験も行った。芋苗植えは後日、学生と地元住民で行った。



・8/8（土）中宮地区 岩魚つかみ

参加者数 50 名（学生 10 名、親子・地域住民 40 名） 「おやこの広場あさがお」の親子が参加

事前に地域住民が岩魚を準備。参加親子が捕獲後、地域住民の指導の下で調理した。



- ・ 8/20 (木) 木滑地区 流しそうめん、水遊び
参加者数 49 名 (学生 13 名、親子・地域住民 36 名) 西南幼稚園の親子が参加
流しそうめん及び水遊びの準備を地域住民が担当。



- ・ 10/11 (日) 木滑地区 芋掘り、農業体験
参加者数 57 名 (学生 12 名、親子・地域住民 45 名) 蝶屋保育園の親子が参加
地域住民の指導の下、春に植えた芋を収穫した。また、稲の脱穀作業の体験も行った。



- ・ 11/14 (土) 中宮地区 郷土料理作り、年賀状作り
参加者数 55 名 (学生 10 名、親子・地域住民 45 名) 「おやこの広場あさがお」の親子が参加
料理方法について地域住民が指導。また、地域住民宛の年賀状を作成した。



- ・12/20（日）白山市内 クリスマス会
参加者数 255 名（学生 15 名、親子・地域住民 240 名） 「おやこの広場あさがお」の親子が参加
学生がハンドベルなど出し物を担当。パパネットあさがおの父親が仮装して出演。



- ・1/23（土）中宮地区 雪遊び、うどん作り
参加者数 37 名（学生 6 名、親子・地域住民 30 名） 「おやこの広場あさがお」の親子が参加
地域住民がうどん作りを指導。



- ・2/7（日）木滑地区 雪遊び 活動開催予定
雪遊びをすると共に、地域のお祭りに参加して地元の文化に触れる予定。
- ・2/12（金）白峰地区 雪だるま祭り 参加予定
地域住民の協力を得て活動をアピールする雪像の製作を予定。

3. 地域活動の成果

- ・山間部の自然や文化に触れることで、親子や学生がふるさとの魅力を体験できた。
- ・山間部の地域住民との交流を図ることで、伝統の文化や技術を学ぶことができた。
- ・活動への参加と共同作業によって親子の絆を深めることができた。
- ・子育て中の保護者同士のコミュニケーションを図ることができた。
- ・学生を含めた参加者が子育てに関する知識・理解を得ることができた。
- ・子育てを支援する団体（おやこの広場あさがお、パパネットあさがお）をサポートすることができた。

4. 来年度の地域活動計画

来年度も今年度同様に、地域の保育園、幼稚園や子育て支援団体と連携しながら、平野部の親子が山間部の高齢者と交流し、自然や文化に触れる活動を企画していきたい。活動の回数や内容は年々充実してきており、参加する学生数も増加し続けている。

しかしながら、例年と同様に、今年も母親と子どもの組み合わせでの参加が多く、父親の参加は少なめであった。さらに父親の参加が増え、活動に於いて父親も中心的存在となるよう、活動の存在の周知や活動内容の改善に努めたい。また、活動する地区によって、住民の活動への関わり方に差があるのが現状である。6年に渡って地域間・世代間の交流活動を継続してきた中で、参加者の固定化が進んだ印象もある。より活発で濃密な交流を実現できるよう、計画を修正していきたい。

5. 学生の感想

- ・なめこの収穫や郷土料理作りなど、初体験の活動が多く刺激になった。
- ・保育実習では保護者と関わることはないので貴重な機会になった。
- ・せっかく活動に参加しても父親があまり関わっていない時があった。
- ・子どもと一対一で関わる機会が多かったため、より子どもの特性を知ることができた。
- ・普段学んでいる手遊びや絵本の読み聞かせを実践することができた。
- ・前回参加していた親子に覚えていてもらえると励みになった。
- ・時間が許せば活動前の打ち合わせに参加したかった。
- ・現地の高齢者の方々と話す機会をあまり持てなかった。

6. 地域活動に対する地域からの評価

- ・学生の手助けによって可能になる活動もあり大変助かっている。
- ・定期的に若い人たちが来てくれるのでいろんな面において励みになる。
- ・新しい活動内容をこちらから提案するので、また来てほしい。
- ・地域の定例行事として定着しつつあるので、今後も継続してほしい。